

*more***Trees**®





2016

2016 年活動報告書

1. 森林プロジェクト実施状況
 - 008. 大分県 日田市
 - 013. インドネシア 東カリマンタン州
2. more trees トリエンナーレ
3. 啓発事業
 - ツーリズム
 - イベント/ワークショップ
 - トーク/シンポジウム/講義
4. オリジナルプロダクト
 - 国内展開
 - 海外展開
5. カーボン・オフセット事業
6. 東日本大震災被災地支援プロジェクト LIFE311
7. 協賛者様一覧
8. 法人概要

more trees の森





2007年の活動スタート以降、「more treesの森」づくりの活動は徐々に広がり、2016年12月現在、国内11か所、海外2か所の森づくりに取り組んでおります。その中でも今年度、特に動きがあったプロジェクトについてご報告いたします。

project 008

大分県 日田市

日田市上津江町(旧上津江村)は大分県西部に位置し、筑後川の源流である川原川と上野田川という2本の支流に囲まれた林業の町です。more treesは株式会社トライ・ウッドと協定を結び、2010年より日田市上津江町の森林整備を推進しています。

上津江町は総面積の90%以上を森林が占め、そのうち85%が水源涵養保安林に指定されているため、下流域の水源地としても健全な森林の育成が重要な地域です。トライ・ウッドは地域の基幹産業である林業の衰退に歯止めをかけようと1990年に設立された第三セクターで、森林の管理から木材の加工・販売までを一貫して行うことで地域産材の需要拡大に取り組んでいます。またこうした先進的な木材生産の展開によって、雇用の確保や林業の後継者育成にも力を入れています。

more treesは森づくりの他に、地域産材の津江杉を活用したオリジナルプロダクト「年輪の置時計」の製造をトライ・ウッドに委託し、地域産業へ貢献してきました。2016年には津江杉を使ったmore treesオリジナル募金箱の製造も開始し、全国各地のショップやイベントなどに設置いただいています。

今後も森林整備や地域産材の活用などの取組みを通じ、地域に根差した森づくりを推進してまいります。



2010年に記念植樹した杉



大きく成長した杉



津江杉で作られたオリジナル募金箱



大分県 日田市

new!

project 013

インドネシア 東カリマンタン州

インドネシアの熱帯雨林はアジア最大規模で、その森林面積は地球上に残存する熱帯雨林の約10%を占めます。しかし過去40年に渡る過剰な森林伐採や野焼きによる延焼火災により、近年急激な森林消失が進んでいます。豊かな生態系の宝庫でもあるこの場所には、インドネシア語で「森の人」を意味するオランウータンなどの絶滅危惧種を含む多くの動植物が生息していますが、森林火災等で生息地を奪われているのが現状です。


 インドネシア 東カリマンタン州

こうした状況下において、more treesは火災跡地の森林の再生を目指し、2016年より現地でオランウータンの保護活動を行うBOS財団 (Borneo Orangutan Survival Foundation) とともに、「オランウータンの森 再生プロジェクト in インドネシア」を開始しました。

本プロジェクトの対象地は、BOS財団が所有するカリマンタン島 (別名ボルネオ島) 東カリマンタン州サンボジャ地区の約1,800ヘクタールの土地のうち、2015年の大森林火災で焼失した約266ヘクタール (東京ドームおよそ57個分) におよぶ火災跡地です。

BOS財団では現在200頭を越えるオランウータンを保護し、森に還すためのトレーニングを行っています。

プロジェクトでは、在来種やオランウータンの餌となる果樹を植林し森林の再生を図るとともに、繰り返し発生する火災に備え、防火帯や貯水池などのインフラ整備を行います。また現地を訪問するツアーを実施することで、インドネシアの熱帯雨林をめぐる現状を広く伝えていきたいと考えています。

今後も法人・個人の皆様から幅広くご支援を募り、オランウータンを始めとする貴重な生物たちが安心して暮らせる森づくりを進めてまいります。



サンボジャ地区で発生した森林火災



サーカス団から保護されたオスのオランウータン



保護施設で生まれたオランウータンの赤ちゃん



「more treesの森」がある国内11か所の地域の皆様が3年に一度、一堂に会する場として2013年に始まった『more trees トリエンナーレ』。2016年にその第2回目を「more treesの森」の第1号がある高知県梼原町にて開催し、全国各地より約50名の方にお集まりいただきました。

「more treesサミット」と題した各地域の活動・事例発表や、梼原町の「more treesの森」の見学の他、高知県の森づくりの活動を紹介します「第10回協働の森フォーラム」に参加しました。また、建築家・隈研吾氏が手がけた「梼原町総合庁舎」などの木造建築を訪れたり、地域産材を活用した燃料を製造するペレット工場や梼原町が取組む植栽実験地も見学しました。

地元の食材を活かした料理や地酒を囲んだ交流会では、各地の森や活動についての情報交換が盛んに行われ、地域を超えた親睦を深めることができました。

これからも地域の皆様とともに、各地で森づくりの活動を続けてまいります。

2016年8月25～27日

「第2回 more trees トリエンナーレ」開催 @高知県梼原町



「more treesの森」見学



more trees サミット



梼原町総合庁舎



農家レストラン「くさぶき」での食事



ペレット工場 見学



急峻な四国山地の山々



ツーリズム

「more treesの森」として協定を結ぶ各地域とのネットワークを活かし、森を感じるツアーを実施しています。実際に現地を訪れることで地域との結び付きが生まれ、都市と森を「顔の見える関係」へとつないでいます。

2016年は3回のオリジナルツアーを行い、参加者の方々には「more treesの森」の見学、間伐体験の他、森林セラピー、地元の方との交流会など、様々な形で森林や地域の魅力に触れていただきました。

2016年3月19～21日

オリジナルツアーを実施
@宮崎県諸塚村

2016年7月16～18日

オリジナルツアーを実施
@鳥取県智頭町

2016年11月5、6日

**丸の内朝大学「アーバン森暮らしクラス」
のフィールドワークとして
オリジナルツアーを実施**
@高知県梼原町



木材加工センター 見学 (宮崎県諸塚村)



地元の方との交流会 (宮崎県諸塚村)



間伐体験 (鳥取県智頭町)



森林セラピー (鳥取県智頭町)



しいたけのぼだ場 見学 (高知県梼原町)



沈下橋 (高知県梼原町)



イベント／ワークショップ

都市の暮らしの中でも森を身近に感じられるよう、誰でも気軽に参加できるイベントやワークショップを数多く開催しています。

2016年は、インドネシアでの森づくりの開始に伴い、現地の森やオランウータンと日本人の関係について学ぶイベントや、more treesのオリジナルプロダクト「つみき」を使ったワークショップなどを行いました。

自然や森に興味を抱ききっかけにつながったり、自らの五感を使って体験できる魅力的なコンテンツを、今後も随時企画していきます。



トウキョウ建築コレクション 2016



箸と箸袋をつくろう ワークショップ



木とあそぼう 森をかんがえよう with more trees



ヒノキのスプーンづくり ワークショップ



more trees night ～森と動物とわたし～

2016年3月2日
「トウキョウ建築コレクション 2016」
トークショー／ワークショップ
@代官山ヒルサイドテラス/
代官山T-SITE Garden Gallery

2016年4月23、24日
「Earth Day Tokyo 2016」
@代々木公園

2016年4月30日
「けんちくかたのしむ まちづくり
by tonton」ワークショップ
@HAGISO

2016年5月3～5日
「木とあそぼう 森をかんがえよう
with more trees」
@赤坂アークヒルズ

2016年5月28、29日
「Fun Fun Ethical FESTA」
ヒノキのスプーンづくり ワークショップ
@ルミネ町田店

2016年8月27日
「第10回協働の森フォーラム」
つみきのプレイランド／木のスプーンづくり
ワークショップ
@ゆすはら・夢・未来館

2016年9月18日
「"Made in SANYO" vol.2 100年コート」
箸と箸袋をつくろう ワークショップ
@SANYO GINZA TOWER

2016年10月1、2日
「Kids Forest 2016」
@サッポロファクトリー

2016年12月7日
「more trees night ～森と動物とわたし～」
@EIJI PRESS Lab

トーク／シンポジウム／講義

more treesでは幅広い層の方に森林や木材の魅力を伝える活動を続けてきました。2016年は社会貢献や地域への理解を深めたいという社会人や学生の方などを対象に、東京だけでなく全国各地で登壇する機会をいただきました。

日本や世界の森林の現状をわかりやすく伝えるとともに、「都市と森をつなぐ」をテーマにしたmore treesの活動もご紹介しながら、これからも多くの方に木や森への関心をもっていただけるきっかけづくりを進めてまいります。



木づかいシンポジウム 2016 in 松山



第10回協働の森フォーラム



桑沢デザイン研究所での講義

2016年2月13日
「釜石・大槌パークレイズ林業スクール
キックオフミーティング」登壇
(主催：釜石地方森林組合)

2016年3月11日
「木育サミット 2016」登壇
(主催：認定NPO法人 日本グッド・トイ
委員会／東京おもちゃ美術館)

2016年6月11、12日
「2016森林と市民を結ぶ全国の集い
in 東京」登壇
(主催：「2016森林と市民を結ぶ全国の
集い in 東京」実行委員会)

2016年6月14日
東京成徳大学「ファッショントレンド/
流行学」講義実施

2016年8月27日
「第10回協働の森フォーラム」登壇
(主催：高知県)

2016年10月5日
「木づかいシンポジウム 2016 in 松山」
登壇
(主催：一般財団法人 日本木材総合情報
センター)

2016年10月6日～12月1日
丸の内朝大学「アーバン森暮らしクラス
四万十編～大切なことはすべて森が教えて
くれた～」講義 (全7回) 実施

2016年11月23日
「とっとりグリーンウェイブ森林環境フォーラム」
登壇
(主催：袖塾／鳥取県)

2016年11月28日
「実施段階を迎えたREDD+とそのポテン
シャル～実施可能性を探る～」登壇
(主催：国立研究開発法人 森林総合研究所)

2016年12月20日 (2017年1月10日)
桑沢デザイン研究所「スペースデザイン特論」
講義実施



日本は国土の約2/3が森で覆われる森林大国でありながら、輸入材との競争や木材需要の低下から価格が下落し、林業は衰退の一途をたどっています。

適切な手入れがされずに放置されたままの森が増えた結果、環境や生態系のバランスが崩れ、土砂災害などの被害をもたらす原因にもつながっています。

こうした現状を改善するため、more treesでは森林整備の推進とともに、国産木材を使ったオリジナルプロダクトの企画・開発を行っています。

2016年は国内外各地で行われた展示会やイベントへの出展の他、POP-UP STOREも多数展開し、プロダクトを通じてmore treesの活動を幅広く知っていただく機会を得ることができました。

国内展開

2016年2月3～5日

「EXTRA PREVIEW #12」出展
@TABLOID

2016年2月23～25日

「PLAYTIME TOKYO」出展
@ベルサール渋谷ガーデン

2016年6月1～3日

「Interior Lifestyle Tokyo」出展
@東京ビッグサイト

POP-UP STORE

@日本橋三越本店 はじまりのカフェ

@ギャラリーショップ&カフェ コニーズアイ

@蔦屋書店(湘南T-SITE、代官山T-SITE、
他8店舗)

@MARGINAL(本店、和歌山店、他4店舗)

@伊勢丹新宿店 ISETAN JAPAN SENSES

@アトラクト・ラルゴ

@LT LOTTO AND TRES

@HOUSE VISION 2016



Interior Lifestyle Tokyo



POP-UP STORE @ LT LOTTO AND TRES



POP-UP STORE @ アトラクト・ラルゴ

海外展開

2016年9月1～17日

「More Trees' TSUMIKI EXHIBITION
in the PARISHIKI」開催

@アトリエ・ブランマント (フランス パリ)

2016年11月29日～12月4日

「Surprising Japan」

@usagi Hong Kong (香港)

*エキシビションに「つみぎ」出展

2016年12月13日

「Soirée des 10ans de Natixis

(ルーブル美術館 Natixis 10周年パーティー)」

@ルーブル美術館 (フランス パリ)

*パーティー会場の装飾に「つみぎ」採用

POP-UP STORE

@ISETAN The Japan Store

Kuala Lumpur (マレーシア クアラルンプール)

@The Japan Store ISETAN MITSUKOSHI

Paris (フランス パリ)



More Trees' TSUMIKI EXHIBITION in the PARISHIKI (フランス パリ)



ルーブル美術館 Natixis 10周年パーティー (フランス パリ)

経済活動によって排出される温室効果ガス (CO₂) を森林が吸収する量などでオフセット (相殺) する取組み「カーボン・オフセット」。more treesでは、顔の見えるカーボン・オフセットとして「more treesの森」に特化したオフセットサービスを提供しています。

国内の「more treesの森」が吸収したCO₂は、国が定めた「J-VER / J-クレジット制度」の認証を受けた信頼性の高いクレジットです。持続的な森づくりと気候変動対策につながる取組みとして、2016年も各企業様や各地で開催されたイベントなどでカーボン・オフセット事業へのご協力をいただきました。

2016年 代表事例



全日本空輸株式会社 / ANA

ANAカーボン・オフセットプログラム (ご搭乗者様ご自身が航空機を利用することにより排出されるCO₂をオフセット)、株主総会2016年



株式会社スーパーホテル

「エコ泊」(公式ホームページからのご予約により、お客様が1泊されることで発生するCO₂をオフセット) 岐阜県大垣・飛騨高山店、宮崎店分



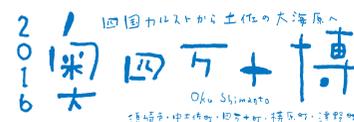
株式会社ニューポート

事業活動 (商品の輸入・配送、提携倉庫における商品の保管及び従業員の通勤・出張等) により排出されたCO₂をオフセットする取組み



株式会社オリエンタルランド

事業活動により排出されたCO₂をオフセットする取組み



奥四万十博推進協議会

「2016奥四万十博」公式ガイドブック1冊につき1kg分のCO₂をオフセットする取組み



G7伊勢志摩サミット

カーボン・オフセットの取組みへクレジットを提供

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援プロジェクト「LIFE311」は、岩手県住田町が町単独で建設した木造仮設住宅の建設、および同住宅への木質ペレットストーブの設置を支援することを目的にスタートしました。

建設された93戸の木造仮設住宅はすべて地元の木材を使って作られ、地域の林業の活性化と森林保全にもつながっています。また丸太を製造する過程で生じる木屑を固めたペレット燃料も地元産であることから、エネルギーの地産地消にも寄与しています。

法人・個人を問わず広く皆様からご寄付を募り、目標に掲げた支援金額3億円を目指して現在も支援を継続しています。

2016年の動き

2016年2月、住田町町制施行60周年を記念した式典が開催され、「LIFE311」の事務局を務めるmore treesが同町より特別功労者として表彰されました。

7月には住田町役場にて2015年度（2015年4月～2016年3月）に皆様よりお寄せいただきました支援金（6,405,636円）の贈呈式を開催しました。これまで「LIFE311」をご支援いただいた多くの方を代表して、継続的なご支援をいただいている企業様へ住田町より感謝状が贈られました。

また、2011年当時に建設された93戸の木造仮設住宅のうち、再利用が決まった13戸について町が行った払い下げの公募には、7倍を超える申込みがありました。こうした動きを踏まえ、再利用可能な木造仮設住宅の特性を活かす取組みがこれからますます重要になってくると感じています。

岩手県住田町の木造仮設住宅には、高齢者世帯を中心に今なお約30世帯の方がお住まいになられていますが、時間の経過とともに震災という出来事そのものが人々の記憶から薄れていってしまっている状況は否めません。

支援額の残りは約7,778万円（2016年3月末時点）。私たちは「LIFE311」の活動を継続するとともに、過去を忘れず、今とこれからを見つめ続けてまいります。



住田町町制施行60周年記念式典



LIFE311 支援金贈呈式



住田町の木造仮設住宅



協賛者様一覧

Supporters of More Trees

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

あいおいニッセイ同和
損害保険株式会社

BIOTOP

株式会社ジュン

 Newport

株式会社ニューポート

「ぐっすり眠れる、LOHASホテル」
スーパーホテル®

株式会社スーパーホテル

2016 四国からスタートして大阪まで
奥四万十博
Of. Shikoku
徳島県・高松市・松山市・高松市・高松市

奥四万十博推進協議会



株式会社オリエンタルランド

MS&AD

三井ダイレクト損保

三井ダイレクト損害保険株式会社



TSUNAGO®

株式会社中島重久堂

 UNIPRES

ユニプレス株式会社



WILIFE.com

ウィルライフ株式会社



UNITED ARROWS LTD.

株式会社ユナイテッドアローズ

STAR*TECH
STAGE ART & TECHNOLOGY

株式会社スターテック



NATURE'S WAY

株式会社ネイチャーズウェイ

株式会社JTB西日本 | 株式会社ジャパンゲートウェイ | 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ | 株式会社サザビリーグ アイシーエルカンパニー | 日本ホテル株式会社

株式会社たかくら新産業 | ハリウッド株式会社 | 株式会社オリエントコーポレーション | 全日本空輸株式会社/ANA | トラボックス株式会社 | エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社

株式会社ナガエプリュス | ヤフー株式会社 | 株式会社コスモスモア | 株式会社ヤマサキ | 株式会社イワタ | ヒロセ ソウ | 株式会社スマイルズ | アサヒベット株式会社

医療法人社団 湘南太陽会 | Mパターン研究所 | 株式会社アンビエンテック | 株式会社アンブラージュインターナショナル | 株式会社クレコス | 株式会社中園建築

株式会社日本グリーンエナジー | 株式会社リソウ | 合同会社コノハズク | 合同会社ファジカ | 第四想庫 | 中江産業株式会社 | 飛騨フォレスト株式会社

法人概要

Corporate Profile

一般社団法人 more trees

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-9-11 フレンシア外苑西 103

Tel 03 (5770) 3969

Fax 03 (5770) 3896

Mail info@more-trees.org

URL <http://www.more-trees.org>

事業内容

- ・国内外での森林整備、植林、森林保全
- ・森林に由来するカーボン・オフセットサービスの提供
- ・国産材アイテムの企画プロデュース・加工・販売
- ・ツーリズム、ワークショップ、イベントの企画開催
- ・森林に関する事業全般

設立

2007年7月19日

役員

代表理事 坂本龍一

理事 池田正昭

見城徹

石橋直樹

監事 山崎卓也

事務局長 水谷伸吉

*more***Trees**®

2017年、more treesは設立満10周年を迎えます。

これからも「都市と森をつなぐ」をテーマに活動を進めてまいります。

引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。



“more trees paper”を
使用しています。